

82 番の歌 「光を人々の前に輝かせなさい」

## エホバの証人ではない家族に温かい心で寄り添う

「諦めずに立派なことを行い続けましょう」。ガラテア 6:9

ポイント；どうすればエホバの証人ではない家族や親族と仲良くやっていけるでしょうか。どうしたら聖書に関心を持ってもらえるでしょうか。

1-2. 家族や親族に良い知らせを伝えると、どうなってしまうことがありますか。

イエスは、弟子になりたいと思っていた男性にこう言いました。「親族のもとに帰り、エホバがしてくださった全てのこと……について知らせなさい」。(マル 5:19) しかしイエスはそれを許さず、こう言った。「親族のもとに帰り、エホバがしてくださった全てのことと示してくださった憐れみについて知らせなさい」。) 家族や親族に良い知らせを伝えたいと思うのは自然なことです。イエスもそのことをよく分かっていました。

2 良い知らせを初めて知った時、どんな気持ちになりましたか。うれしくなって、みんなに伝えたいと思ったはずですが、でも、いざ伝えてみると、思ったような反応は返ってきません。伝える時に熱意が先走って相手が引いてしまい、その後気まずい関係になったかもしれません。そんなとき、クリスチャンとしての信念は曲げずに、家族や親族と仲良くやっていくにはどうしたらいいでしょうか。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 この記事では、家族を助ける時に大切な4つのことを考えます。(1) すぐにいい反応が返ってこなくても、心から思いやる。(2) 否定的な言動の裏にある気持ちをくみ取る。(3) 希望を捨てずに助け続ける。(4) 大切に思っていることが伝わるようにする。

### 心から思いやる

4. ユダヤ人が良い知らせに興味を持たなくても、イエスはどうしましたか。

4 イエスは、良い知らせに興味を持たない人たちをすぐに見限ったりはしませんでした。イエスは自分をブドウ園の栽培人に例えたことがあります。実を付けないイチジクの木を諦めずに世話する栽培人です。(ルカ 13:6-9) イエスはさらにこの例えを話した。「ある人が、ブドウ園に1本のイチジクの木を持っていました。実があるかと見に行きましたが、見つかりませんでした。それでブドウの栽培人に言いました。『このイチジクの木に実があるかともう3年も見に来ていますが、一つも見つかりません。切り倒してしまいなさい！なぜ土地を無駄にしているのですか

』。8栽培人は答えました。『ご主人さま、あと1年そのままにしてください。周りを掘って肥やしをやります。9この先、実を結ぶようであればそれでいいですし、そうでなければ切り倒してください』。この例えを話した時点で、イエスはユダヤ人を助けるためにすでに3年以上努力していましたが、それでも諦めるつもりはありませんでした。どうしてでしょうか。ユダヤ人のことを心から思いやっていたからです。その気持ちが伝道続ける力になりました。

5. イエスがユダヤ人をかわいそうに思ったのはどうしてですか。

5 イエスはユダヤ人のことをかわいそうに思っていました。宗教指導者たちからエホバについて十分に教えてもらえていなかったからです。まるで「羊飼いのいない羊のようだ」と思いました。(マル6:34 イエスは舟を下り、大勢の人を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のようだったからである。そして、多くのことを教え始めた。) イエスは死ぬ少し前、エルサレムの町を見て泣きました。住人のほとんどが、信仰がないために命を落とすことを知っていたからです。(ルカ19:41-44 イエスはエルサレムの近くに来た時、それを眺めて泣き悲しみ、42 こう言った。「もしあなたが、そうです、あなたが、平和に関係することをこの日に見分けていたなら—。しかし今、それはあなたの目から隠されています。43 敵があなたの周りに先のとがった杭で柵を築き、あなたを完全に包囲する(\*完全に囲い込む/四方から攻め立てる)時が来るからです。44 敵は、あなたとあなたの子供たちを滅ぼし尽くし、あなたの中で石を石の上に残したままにはしておきません。あなたが、検分されている時を見分けなかったからです。’) 私たちもイエスと同じような温かい気持ちを持ちたいものです。そうすれば家族や親族を助けたいという意欲が湧いてきます。

6. 家族を助けるために諦めない姿勢が大切なのはどうしてですか。(ガラテア6:9)

6 ガラテア6:9 それで、諦めずに立派なことを行い続けましょう。諦めない(\*疲れ果ててしまわない)なら、やがて刈り取ることになります。を読む。家族がなかなか良い知らせに興味を持ってくれないとしても、焦らずに「立派なことを行い続けましょう」。人が偏見を捨ててエホバを信じるようになるには、時間がかかるものです。考えてみると、私たち自身も以前は「希望もなく、神を知らずに世の中で生活していました」。(エフェ2:12 その頃、皆さんはキリストを知らず、イスラエル国民とは無縁で、約束に関わる契約とは無関係でした。希望もなく、神を知らずに世の中で生活していました。) でも、じっくり向き合ってくれた兄弟姉妹のおかげで、今の私たちがいます。そう考えると、今度は自分が諦めずに家族を助けたいという気持ちになります。

## 否定的な言動の裏にある気持ちをくみ取る

7. イエスの弟たちがイエスに信仰を持てなかったのはどうしてだと思われますか。

7 イエスの弟たちはイエスがガリラヤで起こした奇跡について聞いていたはずですが。(ルカ4:14 イエスは聖なる力に満ちてガリラヤに帰った。イエスの良い評判は周囲の地方一帯に広まった。、22-24) それで人々は皆、イエスについて好意的に語り、その口から出る魅力ある言葉にとっても驚

くようになった。また、「これはヨセフの子ではないか」と言うのだった。23するとイエスは言った。「きっと皆さんは、『医者よ、自分を治せ』という言葉を私に当てはめてこう言うでしょう。『私たちはカペルナウムでなされたことを聞いた。それを郷里のここでも行え』」。24そしてイエスは言った。「はっきり言いますが、預言者は郷里では受け入れられません。）でも最初、イエスに信仰を持ちませんでした。（ヨハ7:5 イエスの弟たちはイエスに信仰を抱いていなかった。） どうしてでしょうか。聖書に詳しいことは書かれていません。でも、当時のユダヤ人がイエスの弟子になりにくかった理由が少なくとも2つあります。まず、ユダヤ人のコミュニティの中で居場所を失う恐れがありました。（ヨハ9:18-22 しかしユダヤ人たちは、目が見えなかったのに見えるようになったとは信じず、その人の両親を呼ぶことにした。19そしてこう尋ねた。「これは、生まれつき目が見えなかった息子か。今は見えるのはどうしてか」。20両親は答えた。「これは息子で、生まれつき目が見えませんでした。21でも、どうして今見えるのかは知りませんし、誰が目を開けたのかも知りません。本人に聞いてください。もう大人です。自分で話すはずです」。22 こう言ったのはユダヤ人たちを恐れていたからだった。ユダヤ人たちは、イエスをキリストと認める人がいれば会堂から追放するとの合意に達していた。）さらに、イエスを小さい頃から知っていた人たちは、そのせいでイエスを神から遣わされた人とは思えませんでした。（マル6:1-4 イエスはそこを去って郷里に来た。弟子たちが後に従っていた。2安息日にイエスが会堂で教え始めると、聞いていた人の多くは大変驚き、こう言った。「この人は、これらのことをどこで学んだのか。このような知恵があつて、これほどの強力な行いができるのは、一体どうしてか。3この人は大工で、マリアの息子、またヤコブ、ヨセフ、ユダ、シモンの兄ではないか。妹たちもここに一緒にいる」。こうして人々はイエスを信じようとしなかった。4しかしイエスは言った。「預言者は、郷里や親族の間や自分の家以外であれば敬われます。）」イエスの弟たちもそういう要素から影響を受けていたのかもしれない。現代でも同じようなことがあります。

8. 親族が否定的な態度を取る理由としてどんなことが考えられますか。

8 否定的な態度の背後にある理由を考える。イエスの親族がイエスについて「彼は頭がおかしくなってしまう」と言った時、その中には弟たちもいたかもしれない。（マル3:21 イエスの親族はそのことを聞き、イエスを捕まえに行つた。「彼は頭がおかしくなってしまう」と言っていた。） どうしてそんなふうにしたのでしょうか。この時、イエスは忙しくて食事も取れないほどでした。（マル3:20 再び人々が集まり、食事もできないほどだった。）親族はそういうイエスを見て、やり過ぎだと思ったのかもしれない。現代でも、親族は私たちのことを宗教にのめり込んでいると考えているのかもしれない。もしそう思われているなら、私たちが決して狂信的ではないことを行動で示していくことが大切です。

9. 家族にエホバの証人について良い印象を持ってもらうために、どんなことができますか（ペテロ第一3:1, 2）（写真も参照）

9 行動で分かってもらう。親切な言葉や思いやりのある行動を心掛けると、家族はエホバの証人に対する見方を変えるかもしれません。（ペテロ第一3:1, 2 同じように、妻の皆さん、夫に従ってください。そうすれば、神の言葉に従順でない夫であっても、言葉ではなく妻の振る舞いによ

って、引き寄せられるでしょう。2皆さんの深い敬意がこもった清い振る舞いを見るからです。  
を読む。) 妻が集会に行ったり伝道に出掛けたりすると、クリスチャンでない夫は寂しくなったり、いらいらしたりすることがあります。なるべくそういう気持ちにさせないために、妻は予定を調整し、夫と過ごす時間を増やすことができます。例えば、夫が留守の時や、1人で何かをしている時などに合わせて伝道に出るようにします。そんなふうに夫の気持ちに配慮し、融通を利かせると、エホバの証人に良い印象を持ってもらえるかもしれません。



親切な言葉や思いやりのある行動を心掛けるなら、エホバの証人に対する見方が変わるかもしれない。(9節を参照)

\*写真や挿絵: 伝道に出掛ける前、姉妹が夫のために食事を準備している。

10. 批判された時、どのようにイエスに倣えますか。

10 批判されてもいちいち気にしない。イエスは、大食いで大酒飲みだと批判された時も、必死に反論したりはしませんでした。むしろ、自分がやっていることを見て判断してほしいと言いました。(マタ 11:19 人の子が来て食べたり飲んだりすると、『見ろ、大食いで、大酒飲みの男、徴税人や罪人たちの仲間だ』と言います。しかし、知恵は行動によって明らかになります。)

イエスを見れば、バランスの取れた人だということが分かったはずです。(ヨハネ 2:2 イエスと弟子たちも披露宴に招かれていた。、6-10 そこには、ユダヤ人の清めのしきたり通りに石の水がめが6つ置いてあり、各容量は五、六十リットルだった。7 イエスが給仕たちに、「かめいっぱいに入れた。8 イエスは言った。「さあ、少くんで、宴会の幹事の所に持っていきなさい」。彼らは持っていった。9 宴会の幹事はぶどう酒に変えられた水を味見したが、その出どころを知らなかった。(水をくんできた給仕たちは知っていた。) それで花婿を呼んで、10 こう言った。「普通は最初に上等のぶどう酒を出し、みんなが酔った頃に劣ったのを出しますが、あなたは上等のぶどう酒を今まで取っておいたのですね」。と比較。) 私たちも、批判されてもいちいち言い返す必要はありません。私たち自身を見て、良識があり暮らしを楽しんでいる人たちだと分かってもらえるようにしましょう。そうすれば、家族はエホバの証人についての良くないうわさを聞いても、それが間違っていることに気付くかもしれません。

## 希望を捨てずに助け続ける

11. イエスは弟たちのことを諦めていませんでした。どうしてそれが分かりますか。

11 福音書から、イエスが弟たちのことを諦めていなかったことが分かります。イエスがカナで最初の奇跡を起こした時、弟たちもその場にいたかもしれません。（ヨハ 2:11, 12 イエスはこれを最初の奇跡(d\*しるし)としてガリラヤのカナで行い、自分の力(d\*栄光)を明らかにした。弟子たちはイエスに信仰を持った。12 この後、イエスと母親と弟たち、また弟子たちは、カペルナウムに下っていったが、そこに長くは滞在しなかった。）でも先ほど考えたように、弟たちはイエスに信仰は持っていませんでした。だからといって、イエスが弟たちとのつながりを絶ってしまうことはありませんでした。カナでの最初の奇跡から3年ほど後にも、弟たちに優しく語り掛けていたことが記録されています。（ヨハ 7:5-8 イエスの弟たちはイエスに信仰を抱いていなかった。6 それでイエスは言った。「私の時はまだ来ていませんが、あなたたちはいつ行っても大丈夫です。7 世の人々があなたたちを憎む理由はありません。しかし、私のことは憎みます。世の行いが邪悪であることを明らかにするからです。8 あなたたちは祭りに行きなさい。私はまだ行きません。私の時はまだ来ていないからです。」）

12. どんなことを考えると、希望を捨てずに親族を助けたいという気持ちになりますか。

12 私たちは最近、エホバがどれほど憐れみ深い神か、よく理解できるようになりました。大患難が始まってからも、エホバの側に付く人がいる可能性があります。私たちの親族にも、間違った宗教が減びるのを見て、私たちから聞いていたことを思い出してエホバに仕えるようになる人がいるかもしれません。\*「ものみの塔」2024年5月号11ページ、「エホバがこれからどのように裁くかについて分かっていること」という記事の11-13節を参照。（啓 17:16 そして、あなたが見た10本の角と野獣は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽くします。）そのことを考えると、希望を捨てずに親族を助けていこうという気持ちになります。今のうちから親族のためにできることがあります。もし親族が辛い目に遭っているなら、寄り添って力になってあげましょう。私たちの親切や気遣いが心からのものだということが伝わると、聖書にも関心を持ってくれるかもしれません。

## 大切に思っていることが伝わるようにする

13. 忙しい日々を送っていても、どんなことに気を配るといいですか。

13 エホバに仕える私たちはみんな忙しい日々を送っています。だからといって、家族に「いつも自分たちを後回しにしてる」とか「大事にされてない」などと思わせたくはありません。（マタ 7:12 ですから、人からしてほしいと思うことは全て、人にもしなければなりません。これが律法と預言者の書が教えていることです。）では家族を大切に思い、気遣っていることをどんなふうに伝えられるでしょうか。

14-15. 家族や親族を大切に思っていることを伝えるためにどんなことができますか。どんな実例がありますか。

14 こまめに連絡を取る。こちらの近況を伝えると、家族はうれしく思うはず。例えば、旅行先や友達との写真を添えてメッセージを送れます。ちょっとしたプレゼントをしたり、手紙を送

ったりすると、心の距離が近くなります。そんなふうに自分の方から連絡を取って、大切に思っていることが伝わるようにしましょう。

15 アルメニアのアナ姉妹のことを考えてみましょう。姉妹の親族は、誕生日や祝祭日などによく集まって時間を過ごしています。姉妹がエホバの証人になった時、親族は、付き合いが悪くなるんじゃないかとか、姉妹の将来にマイナスになるんじゃないか、と心配しました。そういう不安を、アナ姉妹はどんなふうに和らげたのでしょうか。こう言っています。「親戚に会いにいった時は、普段の生活について話すようにしています。うちにも呼んで友達を紹介しています。そうしているうちに、親戚も私の友達と仲良くなりました。私が楽しそうにしているのを見て安心しているみたいです」。

16. イエスはヤコブを気に掛けていたので、どんなことをしましたか。（脚注も参照。）

16 **様子を気に掛ける。** イエスは復活した後、弟のヤコブの前に現れました。ヤコブを気に掛けていたからです。（[コリ 15:7](#) その後、キリストはヤコブの前に、それから全ての使徒たちの前に現れました。）ヤコブはイエスが自分のことを思ってくれていることが分かって、うれしく感じただけです。このことがきっかけで、ヤコブはイエスがメシアだと確信できたようです。その後、ヤコブはほかの家族もイエスに信仰を持てるよう助けたかもしれせん。\*イエスの弟のうち、少なくともヤコブとユダの2人はイエスが死んで生き返った後にクリスチャンになりました。（[使徒 1:14](#)）

17. [ローマ 12章 15節](#)をどのように実践できますか。（写真も参照。）

17 [ローマ 12:15](#) **喜ぶ人と一緒に喜び、泣く人と一緒に泣きましょう。** を読む。家族が喜んでいる時も悲しんでいる時も、気持ちに寄り添い、感情を共有するようにしましょう。そうすると気遣いが伝わって、心を開いてくれるかもしれません。\*「結婚式や葬式に出席してもいいだろうか」という囲みを参照。例えば、親族に子供が生まれた時は、プレゼントを送ってお祝いの気持ちを伝えられます。大切な人を亡くした時は、慰めたり、カードを送ったり、いろんな用事を代わりにやったりあげたりできます。定期的に連絡を取り、気に掛けていることを伝えるようにしましょう。相手がつらい思いをしているような時は、特にそれが大事です。



家族が支えを必要としている時、気持ちに寄り添うようにすると、心を開いてくれるかもしれない。（17節を参照）

\*写真や挿絵: 同じ姉妹がエホバの証人ではない義理の母親を訪ねている

## 結婚式や葬式に出席してもいいだろうか

結婚式や葬式は家族みんなが集まる機会になります。出席するかどうか決める時、聖書に照らして考えることが役立ちます。

- 宗教的な儀式や慣習が含まれている式でしょうか。それとも社交的な場にすぎないでしょうか。(コリ二 6:14, 15 クリスチャンではない人と結び付いてはなりません。それは不釣り合いな関係です。正しいことと不法にいったいどんな関わりがあるでしょうか。光と闇にどんな共通点があるでしょうか。15 キリストとベリアルの間どんな調和があるでしょうか。クリスチャンはクリスチャンではない人と何を共有するのでしょうか。)
- 出席した場合、宗教的な儀式や聖書の教えに反する慣習に加わるようにというプレッシャーに抵抗できるでしょうか。(格 22:3 聡明な人は危険に気付いて身を隠すが、経験のない人たちは進んでいって当然の報い(\*罰)を受ける。)
- エホバの証人ではない親族は、あなたが聖書の教えに反する慣習に加わらないことを理解しているでしょうか。
- 宗教関連の建物で行われる式に出席したら、それを知ったクリスチャンの仲間は どう感じるでしょうか。(フィリ 1:10 皆さんがより重要なことを見極め、キリストの日までずっと純粹でいて、人の信仰を妨げることがありませんように。)

どんな判断をするにしても、自分の意思を家族にはっきりと、でも親切に説明するようにしましょう。一番大切なのは、エホバの前で晴れやかな心でいられるような判断をすることです。\*判断の仕方について詳しくは、「ものみの塔」2002年5月15日号と2007年11月15日号の「読者からの質問」を参照。

18. アンデレに倣って、どんなことができますか。

18 会衆の兄弟姉妹を紹介する。アンデレはイエスがメシアだと分かった時、すぐに兄弟のペテロをイエスの所に連れていって紹介しました。(ヨハ 1:40-42 ヨハネが言ったことを聞いてイエスに付いていった2人のうちの1人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレだった。41 アンデレはまず自分の兄弟シモンを見つけて、言った。「私たちはメシア(「キリスト」という意味)を見つけた」。42 そしてシモンをイエスの所に連れていった。イエスは彼を見て、言った。「ヨハネの子シモン、あなたはケファ(「ペテロ」と訳される)と呼ばれます」。) 私たちもそんなふうにできるでしょうか。例えば、集会や食事に誘ったりして、兄弟姉妹に実際に会ってもらえます。エホバの証人がごく普通のきちんとした人たちだと分かってももらえるかもしれません。

19. 信条をよく理解してもらえないとしても、どんな接し方を心掛けるといいですか。(ペテロ第一 3:15)

19 ペテロ第一 3:15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんの抱く希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準備しておきましょう。語る時には、温和な態度と深い敬意を示しましょう。を読む。家族は、私たちが特定の慣習や行事に参加できない理由をよく

理解できないかもしれません。でも、私たちが思いやり深く敬意のこもった接し方をすれば、良い印象は心に残ることでしょう。クリスチャンとしてできないことはあっても、ほかの時に一緒に時間を過ごすことはできます。会いにいったり、食事をしたり、プレゼントをしたりすればきっと喜んでくれます。

## 諦めないでください

20. ヤコブの例から何が学べますか。

20 ヤコブはイエスと一緒に伝道するチャンスを逃してしまいました。でも、後になってイエスの弟子になりました。（ガラ 1:18, 193年後、私はケファを訪ねるためエルサレムに上り、彼の所に15日間滞在しました。19しかし、ほかの使徒たちには会いませんでした。主の弟であるヤコブに会っただけです。:2:9 また彼らは、私に示された惜しみない親切についても知りました。それで、柱と見なされていたヤコブとケファとヨハネが、私とバルナバと握手を交わし、こうして私たちは異国の人々の所へ、彼らは割礼を受けた人たちの所へ行くことになりました。）イエスが教えたことはヤコブの心に刻まれていました。ヤコブが聖なる力に導かれて書いた手紙には、イエスが山上の垂訓で話したのと同じような考えが含まれています。\*○ヤコブ 1:2 私の兄弟たち、さまざまな試練に遭う時、それを喜ばしいことと考えましょう。とマタイ 5:11, 12 私のために非難(\*侮辱)され、迫害され、悪意のあるうそをいろいろ言われるとき、あなたたちは幸福です。12 喜び、歓喜しなさい。天での報いは大きいからです。以前の預言者たちも同じように迫害されました。、○ヤコブ 1:19 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません。とマタイ 5:22 しかし私は言います。仲間(d\*兄弟)に対して憤りを抱き続ける人は皆、法廷に引き出されます。ひどく侮辱的な言葉を仲間にする人は最高法廷に引き出されます。また、『どうしようもない愚か者！』と言う人は、火の燃えるゲヘナに投げ込まれます。、○ヤコブ 1:22 神の言葉を実践する人になってください。聞くだけの人になってはなりません。間違った考え方をして自分を欺いてはならないのです。;2:24 もうお分かりでしょう。人は行動によって、正しいと認められるのです。信仰だけで認められるではありません。とマタイ 7:21 私に向かって『主よ、主よ』と言う人全員が天の王国に入るのではなく、天にいる私の父の望むことを行う人だけが入ります。、○ヤコブ 2:13 憐れみを示さない人は、憐れみを示されることなく裁かれます。憐れみは裁きに打ち勝つのです。とマタイ 5:7 憐れみ深い人たちは幸福です。憐れみを受けるからです。;6:14, 15 人の過ちを許すなら、天の父もあなたたちを許して下さいます。15 逆に、人の過ちを許さないなら、父もあなたたちの過ちを許されません。をそれぞれ比較。

21. 諦めないで親族を助けることが大切なのはどうしてですか。

21 私たちがどんなに親族を思いやり、気遣っても、態度が変わらないかもしれませんし、良い知らせに興味を持たないかもしれません。それでも諦めないようにしましょう。家族にいつも親切にしていれば、温かい優しさにあふれるエホバとイエスに倣えるからです。（ルカ 6:33 よくしてくれる人に善を行ったからといって、称賛を受けるのでしょうか。罪人たちも同じことをします。、36 天の父が憐れみ深いように憐れみ深くありなさい。）相手を思う気持ちはやがて伝わり、態度が和らぐかもしれません。聖書について私たちが伝えたことを後になって思い出す、ということもあります。いつか一緒にエホバを崇拝できるかもしれないという希望を捨てずに、ベストを尽くして家族を助けていきましょう。

## エホバの証人ではない家族を助ける時

### 1. 心から思いやることが大切なのは どうしてですか。

- ・S04 イエスは、良い知らせに興味を持たない人たちをすぐに見限ったりはしなかった。反応が悪くてもユダヤ人のことを心から思いやっていたので、その気持ちが伝道を続ける力になった。
- ・S05 イエスは、宗教指導者たちからエホバについて十分に教えてもらえていなかったユダヤ人のことをかわいそうに思っていた。イエスは死ぬ少し前、エルサレムの町を見て泣いたのは、住人のほとんどが、信仰がないために命を落とすことを知っていたから。
- ・S06 家族がなかなか良い知らせに興味を持ってくれないとしても、焦らずに立派なことを行い続ける。私たち自身も以前は希望もなく、神を知らずに生活していたが、じっくり向き合っただけでくれた兄弟姉妹のおかげで、今の私たちがいることを感謝できる。

### 2. 希望を捨てないことが大切なのは どうしてですか。

- ・S11 イエスの弟たちが最初イエスに信仰を持たなくても、弟たちのことを諦めておらず、カナでの奇跡から3年ほど後にも、弟たちに優しく語り掛けていた。
- ・S12 大患難が始まってからも、私たちの親族にも、間違っただけで宗教が滅びるのを見て、私たちから聞いていたことを思い出してエホバに仕えるようになる人がいるかもしれず、今のうちから親族のためにできることがある。

### 3. どうすれば、大切に思っていることが伝わりますか。

- ・S14 こまめに連絡を取り、こちらの近況を伝える。
- ・S16-17 様子を気に掛け、家族が喜んでいても悲しんでいる時も、気持ちに寄り添い、感情を共有する。プレゼントやカードを贈ったり、いろんな用事を代わりにやってあげたりできる。定期的に連絡を取り、気に掛けていることを伝えるようにする。
- ・S18 会衆の兄弟姉妹を紹介し、エホバの証人がごく普通のきちんとした人たちだと分かってもらえるようにする。

## 60 番の歌 命を意味する知らせ

△ 「ものみの塔」2024年5月号11ページ、「エホバがこれからどのように裁くかについて分かっていること」という記事の11-13節を参照。

△ イエスの弟のうち、少なくともヤコブとユダの2人はイエスが死んで生き返った後にクリスチャンになりました。

△ 「結婚式や葬式に出席してもいいだろうか」という囲みを参照。

△ ヤコブ 1:2 とマタイ 5:11, 12, ヤコブ 1:19 とマタイ 5:22, ヤコブ 1:22; 2:24 とマタイ 7:21, ヤコブ 2:13 とマタイ 5:7; 6:14, 15 をそれぞれ比較。

△ 判断の仕方について詳しくは、「ものみの塔」2002年5月15日号と2007年11月15日号の「読者からの質問」を参照。

△ 写真や挿絵: 伝道に出掛ける前、姉妹が夫のために食事を準備している。